

# メトロノーム & クロマチック / ギター / ベース / バイオリン チューニング・システム

## BCT-1000

### — 取扱い説明書 —


このたびはBELCAT《BCT-1000》をご購入いただき、まことにありがとうございます。ご使用になられる前に、この取扱説明書をよくお読みいただき、正しく安全にお使いください。

#### 使用上の注意

- ・当製品を分解したり改造したりしないでください。
- ・高温や湿度の高い場所での保管は避けてください。
- ・振動の激しい場所での使用は避けてください。
- ・ホコリの多い場所での保管は避けてください。
- ・濡れた手で触らないでください。
- ・当製品に無理な力を加えないでください。
- ・当製品を投げたり落としたりしないでください。
- ・汚れを拭き取る場合は乾いた布を用い、アルコール等の有機溶剤の使用は避けてください。
- ・長時間使用しない場合は、本体から電池を取り外してください。液漏れ等により内部回路が破損する恐れがあります。
- ・使用しない場合は必ず電源をお切りください。
- ・指定された電池（6F/22S-006P）以外は使用しないでください。故障や破損の原因となります。

以上の用法を守り、正しく安全にご使用ください。

### 各部の名称と使い方

※  マークはボタンを1秒以上長押ししてください

#### ①POWER

電源のオン / オフを切り換えます。電源がオンになると、LCDディスプレイに画面が表示されます。画面は、電源を切る直前に表示されたモードでスタートします。

#### ②TUN/METRO

チューナーモード、メトロノームモードの切替を行います。現在表示されているモードによってこのボタンの用途が変化しますのでこれから先は表示されているモード別に各部の説明を行っていきます。

#### 表示画面がメトロノーム・モードの場合

- 1) メトロノーム起動中に、このボタンを1秒以上長押しすると、音がミュートします。もう一度ボタンを押すと再び音が出ます。
- 2) 通常のボタン押し（1秒以内）でメトロノームの各パラメーターの切り替えを行います。一回ボタンを押すたびに、METRONOME 1、METRONOME 2、TEMPO、BEAT、RHYTHM、と切り替わります。
- 3) メトロノームが止まっている状態でボタンを長押し（1秒以上）するとチューナー・モードに切り替わります。

#### 表示画面がサウンドチューニング・モードの場合

- 1) サウンドチューニング・モード時にこのボタンを押すと、このモードに入る前のモード（チューナーモード、またはメトロノーム・モード）に切り替わります。

#### 表示画面がチューナー・モードの場合

- 1) 通常のボタン押し（1秒以内）でチューナーのモード切替を行います。モードは一回ボタンを押すごとに、AUTO CHRIM（クロマチック）→AUTO GUITAR（ギター用オート）→AUTO BASS（ベース用オート）→AUTO VIOLIN（バイオリン用オート）と切り替わります。
- 2) このボタンを1秒以上長押しすると、メトロノーム・モードへ切り替わります。

**注意：それぞれのモードを切り替える際は“SOUND”ボタンを押して、全てのサウンドをオフにしてください。**

#### ③NOTE

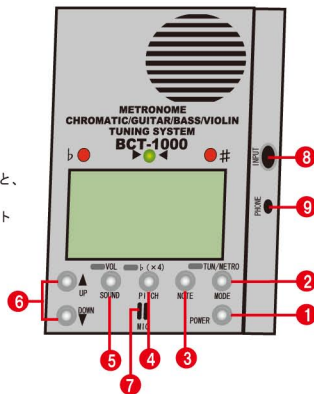
現在表示されているモードによってこのボタンの用途が変化しますので表示されているモード別に各部の説明を行います。

#### 表示画面がメトロノーム・モードの場合

- 1) メトロノーム・モード時にこのボタンを押すと、サウンドチューニング・モードに切り替わります。

#### 表示画面がチューナー・モードの場合

- 1) 選択されているそれぞれのオート・チューニングモードをマニュアルモードに切り換えます。マニュアルチューニング・モード時では▲UP/▼DOWNでノートの切替を行います。※ノートの切り替えは選択されたモードに対応しているため、あらかじめ楽器に合ったチューニングモードを選んでおいてから、マニュアルモードに切り換えてください。



#### ④b(×4)/PITCH

現在表示されているモードによってこのボタンの用途が変化しますので表示されているモード別に各部の説明を行います。

#### 表示画面がチューナー・モードの場合

- 1) 通常のボタン押し（1秒以内）でピッチ調整モードに切り替わりLCD上の「PITCH」が点滅します。ピッチの値を▲UP/▼DOWNで調節します。
- 2) ボタンを1秒以上長押しするとチューニングの設定モードに切り替わり、LCD画面上の「FLAT」が点滅します。bの数を▲UP/▼DOWNで調節します。もう一度このボタンを押すとピッチ調整モードに切り替わりLCD上のPITCHが点滅します。ピッチの値を▲UP/▼DOWNで調節します。

#### 表示画面がサウンドチューニング・モードの場合

- 1) 通常のボタン押し（1秒以内）でピッチ調整モードに切り替わりLCD上の「PITCH」が点滅します。ピッチの値を▲UP/▼DOWNで調節します。

#### ⑤VOL/SOUND

現在表示されているモードによってこのボタンの用途が変化しますので表示されているモード別に各部の説明を行います。

#### 表示画面がチューナー・モードの場合

- 1) オートチューニングモード時、このボタンを押すと基音であるAのサウンドが出ます。▲UP/▼DOWNボタンで出したい音を選択します。もう一度ボタンを押すと音がミュートします。
- 2) マニュアルチューニングモード時、このボタンを押すと表示されているキーの音が出ます。▲UP/▼DOWNボタンで出したい音を選択します。もう一度ボタンを押すと音がミュートします。

#### 表示画面がサウンドチューニング・モードの場合

- 1) 通常のボタン押し（1秒以内）で表示されているモードのサウンドが出ます。▲UP/▼DOWNボタンで出したい音を選択します。もう一度ボタンを押すと音がミュートします。
- 2) ボタンを1秒以上長押しするとボリューム調節モードに切り替わり、LCD画面上の「VOL」が点滅します。▲UP/▼DOWNボタンで音量を調節してください。

#### 表示画面がメトロノーム・モードの場合

- 1) 通常のボタン押し（1秒以内）でメトロノームサウンドが出ます。もう一度このボタンを押すと音がミュートします。
- 2) ボタンを1秒以上長押しするとボリューム調節モードに切り替わり、LCD画面上の「VOL」が点滅します。▲UP/▼DOWNボタンで音量を調節してください。

#### ⑥UP/DOWN

各モードで選択されているパラメーターの数値を変更します。

#### ⑦MIC

アコースティック楽器の音をチューニングするためのマイクです。

#### ⑧INPUT JACK

楽器の入力端子です。

#### ⑨PHONE JACK

Φ2.5mm フォンジャック。ヘッドフォンで音を聞くときにはこちらに接続します。

